

【別紙様式2】

他とともによりよく生き、自ら学び主体的に行動できる生徒の育成

～地域人材を活用した取組を通して～

屋久島町立岳南中学校

全校児童(生徒)数	73名(男子35名 女子38名)		
全クラス数	5	教職員数	13
運動部活動数	3	運動部活動参加率	88%

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

- (1) 新体力テストの結果から全国平均以上の種目が1年男子で2種目、女子が1種目。2年生においては男子が3種目、女子が4種目という結果であった。

種目		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	5.0m走	立ち幅とび	ハンド投げ
1年	男子	本校平均 5月 24.67	18.00	37.00	48.33	72.14	8.50	176.67	17.86
		全国平均	23.94	24.44	40.27	50.13	71.57	8.42	182.75
女子	本校平均 5月	23.00	17.91	42.09	43.91	46.27	10.18	161.18	11.73
	全国平均	21.98	21.90	43.88	46.85	56.33	8.90	169.26	12.33

種目		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	5.0m走	立ち幅とび	ハンド投げ
2年	男子	本校平均 5月 32.75	25.25	49.42	54.58	86.50	7.96	188.58	19.58
		全国平均	30.03	27.84	45.48	53.86	88.28	7.80	201.67
女子	本校平均 5月	26.07	22.50	45.79	50.64	52.64	9.02	175.57	14.36
	全国平均	24.24	24.43	46.78	48.96	62.32	8.62	175.19	13.79

- (2) 体力的な課題もあるが、自分の体や筋力を上手く生かせない生徒や体の動かし方や運動の方法を理解できずに本来の力を発揮できない生徒が多い。

2 取組の目的

- (1) 新体力テストの結果分析から、全国平均を下回る種目の底上げを図るために、補強運動の工夫と毎時間の実践を通して体力向上を図る。
- (2) グループ活動を通して練り合いの場を設定し、主体的な取組につなげる。また、ICT機器を有効に活用することで、より効果的な授業を展開する。
- (3) 地域人材を活用し、より専門的な技術指導を提供することで生徒の意欲の向上につなげる。
- (4) 教科外体育においては保護者・地域との連携を図ることで、地域全体で生徒が運動に親しむ環境を創り出し、運動が好きな生徒の育成につなげる。

取組の内容

1 教科体育の充実

- (1) 新体力テストの結果から、本校の課題である種目を意識した補強運動を毎時間実施する。
- (2) 様々な習熟度の生徒をグループに混合させ、生徒同士が教え合うことにより、互いの表現力を高め、主体的に運動に取り組む授業作りを目指す。
- (3) 体力向上や運動への興味関心を高めるために、正しい知識を身に付けることが重要であると考え、地域の指導者を活用して、専門的な視点から指導にあたる。
- (4) タブレットやプロジェクターを積極的に活用して、運動の様子を動画で撮影し、振り返りを行うなど、話し合いの活動に有効活用する。

2 教科外体育の充実

- (1) 体育大会をはじめとする体育的行事に生徒会保体

部を中心として運営に参加させることで、生徒が主体となった学校行事を作り上げる機会を設定した。(体育大会、長距離走大会、お別れ球技大会等)

- (2) 地域人材を活用した食育授業を行う。加えて、給食週間に合わせ、保体部の生徒が校内放送で地域の特産物や給食の歴史等について考えさせる。
- (3) 歯科衛生士による歯科指導を行い、歯のかみ合わせと健康について指導を行う。

3 家庭や地域との連携

- (1) 部活動や少年団活動の連携をより深めるために、校区内の小学校との合同練習や大会参加を通して、運動に対するの興味関心や向上心を高める取組を行う。
- (2) 校区内小学校と連携を図り、新体力テスト分析結果から共通実践事項を設定して、9年間を見通した児童生徒の育成に取り組む。
- (3) 家庭との連携では、学校保健委員会への参加を呼びかけ、食や健康に関する事例について、情報を共有する取組を行う。

●工夫したこと

- ① 体育的行事や部活動において、生徒を主体的に取り組ませることで、協調性や協働性の大切さを体感させて集団での活動における一人一人の役割の重要性について考えさせる場の設定を行った。
- ② 地域人材を活用することによって、より専門的な技術指導を提供できるとともに、複数の指導者で生徒に対して、より多くの指導助言を与えた。

取組の成果

- ① 新体力テストの結果から、5月と比較して、向上傾向が見られた。
- ② 地域人材活用により、生徒の意欲が高まった。

種目		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	5.0m走	立ち幅とび	ハンド投げ
1年	男子	5月 24.67	18.00	37.00	48.33	72.14	8.50	176.67	17.86
		12月 28.75	21.75	41.50	51.50	84.50	7.85	186.50	19.75
女子	本校平均	5月 23.00	17.91	42.09	43.91	46.27	10.18	161.18	11.73
	12月	25.40	21.77	39.66	44.62	50.62	8.90	157.70	12.20

種目		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	5.0m走	立ち幅とび	ハンド投げ
2年	男子	5月 32.75	25.25	49.42	54.58	86.50	7.96	188.58	19.58
		12月 34.66	28.41	49.41	56.75	91.50	7.70	203.33	21.00
女子	本校平均	5月 26.07	22.50	45.79	50.64	52.64	9.02	175.57	14.36
	12月	27.30	23.30	49.15	47.84	53.46	8.90	177.15	14.00

今後の課題

- ① タブレットの機能を十分に生かした授業作りを研究する。
- ② 運動部活動生徒以外の生徒の運動量が少ないため、家庭・地域との連携を高めて運動の機会を増やす。

教科体育の充実

【地域人材による授業の補助】



【話し合い活動・ICT機器の活用】



教科外体育の充実

【食育教室】



【地域交流会（グラウンドゴルフ）】



【歯科指導】



【生徒会による体力強化期間】



【地域人材棒踊り指導】



家庭や地域との連携

【PTA主催 岳南サイクリング】



【小中連携（研修会・部活動）】

